

第7回 山内春のふれあいコンサート

ふるさと絵屏風 絵屏風親類大集合 お披露目コンサート

日時：2018年3月10日（土）

13：15開演（12時半開場）16時終演予定

会場：ダイヤモンド滋賀ホテル

甲賀市土山町黒川171

入場料：500円

ワンドリンク付き
やっぽんぽんの湯・特別割引券付き

地域資源活性化プログラム

- ・♪ 箏の音色でオープニング♪
- ・山内ふるさと絵屏風 絵解き（2017年度完成 笹路・黒滝・山女原版）
- ・絵屏風親戚フリーセッション ♪ ハンドベルをバックに♪
- ・まちづくりミニ講話～延藤安弘さん（NPO 法人まちの縁側育くみ隊代表理事）
- ・ふるさとを歌おうコンサート～盛井智彰さん（シガーソングライター）

29年度 3地区制作風景



山女原（あけびはら）区



笹路（そそろ）区



黒滝（くろたき）区



28年度完成した絵屏風絵解き

主催：山内エコクラブ 共催：山内自治振興会
協力：山内ゆうゆうクラブ、ダイヤモンド滋賀
後援：滋賀県、滋賀県教育委員会、甲賀市、甲賀市教育委員会、
近畿環境パートナーシップオフィス

山内ふるさと絵屏風

山内エコクラブでは、これまで7年に渡り行ってきた昔のくらしの聞き取りをあつめ、地域の方々と一緒にふるさと絵屏風にまとめました。そこに生きた一人ひとりの心に息づく生業、生活風俗、祭りや行事、季節の移ろい等生活物語です。尊厳ある先人たちの生きた知恵、自然との共生したくらし、地域のなかでの結は、未来につながる歴史“記憶遺産”として残すことができるでしょう。

平成28年度は、猪鼻・山中・黒川地区、平成29年度は、笹路、黒滝、山女原地区、山内すべての地域で絵屏風が完成しました。

「ふるさと絵屏風」は、滋賀県立大学 上田洋平助教が考案されたもので、県下でも40以上の地域で取り組まれています。今回は、山内の6地区のお披露目と共に、これまでご指導いただきました草津の矢倉、渋川、甲賀市の水口町今郷好日会をはじめ、県内の代表的な絵屏風をご覧ください。

ゲストの方々

♪ふるさとコンサート 盛井智彰（もりいともあき）さん

1983年日野町生まれ。家はお寺。福祉施設職員の傍らシンガーソングライターとしてギター片手にソロ活動やユニットを結成し、各地で平和の歌などを伝える。仕事、地域活動、音楽活動などを通して、認め合い、支え合う街づくりをめざして、精一杯生きようとする人を応援する歌声は好評を博している。

♪ハンドベル ふらんしーず：平成24年にできた介護予防を目的としたハンドベルサークル、30曲以上のレパートリーを持ち、童謡や懐メロを中心に、山内外への演奏活動ができるまでになった。絵屏風の語りのバックでコンサートを盛り上げていただく。

♪箏 ふーふうー：平成20年に有志で結成した箏の自主活動サークル。6人のユニットで、キーボードをベースにレパートリーを広げている。施設慰問や老人会の演奏依頼などで腕を上げてきている。

特別ゲスト 延藤安弘（えんどうやすひろ）さん

1940年大阪生まれ。北海道大学建築工学科卒業、京都大学助手を経て、熊本大学と千葉大学の教授を歴任。2003年4月からNPO法人の代表。2005年から愛知産業大学大学院教授、2012年定年退官。2011年日本建築学会教育賞受賞。

全国で行う幻燈会形式の講演は、各地のまち育ての事例を紹介し、参加者にまちの縁側作りの種をまいている。著書に『「まち育て」を育む—対話と協働のデザイン』（東京大学出版会）、『何をめざしていきるんや—一人が変わればまちが変わる』（プレジデント社）、『私からはじまるまち育て—“つながり”のデザイン10の極意』（風媒社）、

『おもろい町人（まちなちゅ）—住まう、遊ぶ、つながる、変わる、まち育て』（太郎次郎社エディタス）他多数。2009年全国いい川いい河づくりワークショップにて、準グランプリを受賞した山内エコクラブの子どもたちに対して、【歌うように水の伝統文化の宝を伝える感動的演技で賞】と賞の命名をいただいたのが山内エコクラブと延藤先生とのご縁です。地域が作るふるさと絵屏風に対してエールをいただきます。



【申し込み方法】 山内地域市民センター(山内公民館) 締め切り：平成30年3月7日(水)

当日参加も大丈夫ですが、人数把握のために申し込みにご協力ください。

ファックス、メール、電話、郵送をお願いします。

山内地域市民センター 甲賀市土山町黒川1970 電話・FAX (0748-68-0001)

メール ryuoh-mtm@maia.eonet.ne.jp (山内エコクラブ)

★山内・春のふれあいコンサート FAX・申込書 (FAX 0748-68-0001)

お名前	住所	連絡先